

## 令和7年度 迫櫻高等学校「志教育」年間指導計画

3つの視点			かかる	もとめる	はたす	かかる			もとめる	はたす	かかる			もとめる	はたす	かかる			
各教科指導目標	国語	○	○	地理歴史	○	○	公民	○	○	数学	○	○	理科	○	○	○	○	○	
	社会人として生きるために必要な能力や態度を育成する。	様々な社会的事象を歴史的過程と地域的特色の側面から考察し、理解する力を身につけるとともに、知識の習得だけにとどまることなく、社会の変化に自ら対応する力や課題を設定し追求・解決していく力を養う。	現代の社会について主体的に考察させ、理解を深めさせるとともに、知識の習得にとどまらず、社会的事象について客観的かつ公正なものの見方を育成し、課題を調査する力やその成果を表現できる力を養う。	正しい判断をするためには主観ではなく客観的な分析が大切であることを理解させる。また互いに協力し合って課題に取り組ませるとともに、議論することで多様な考え方を知り、課題の解決策が見いだせることを実感させる。	観察や実験を通して、自然の事物や現象を科学的に探究し、理解する能力を身につけさせるとともに、日常生活の中で生じる様々な課題に対し科学的に思考・判断する力を養う。														
	保健体育	○	○	芸術	○	○	外国語	○	○	○	家庭	○	○	○	○	○	○	○	
	ルールを守る大切さを学ぶとともに、安全に配慮してスポーツを生涯楽しむ素地を作る。また、普段より健康の保持増進を考えた生活を送ることを通じて、身体的・精神的に豊かな生活が出来るような基礎を作る。	芸術活動を通して生徒一人一人の感性を高め、豊かな情操を養うとともに、生涯にわたって芸術文化に親しむことで、人間のかつ創造的な生き方を求める心を育む。	外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働き、外国語による言語活動を通して、情報や考え方などを確に理解したり適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を育成する。	人の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的にとらえ、日常生活の知識と技術の習得を通して、人とのかかわり、生き方の探究、社会での役割をはたすことができるよう、男女が協力し「生きる力」を育んでいく。	情報及び情報技術を活用するための知識と技術を習得させ、社会の中で情報及び情報技術が果たしている役割や影響を理解させるとともに、社会の情報化の進展に主体的に対応できる能力と態度を育てる。														
	福祉	○	○	商業	○	○	農業	○	○	○	工業	○	○	○	○	○	○	○	
	人間関係形成能力やコミュニケーション能力、課題解決能力を高めるための知識と技術を総合的・体験的に習得し、社会に関する諸課題を主体的に解決し、社会福祉の増進に寄与する創造的能力と実践的態度を育てる。	商業に関する基礎的基本な知識と技術を習得させ、ビジネスの意義や役割を理解させるとともに、社会の信頼を得て諸活動に取り組むための倫理観、責任感、協調性など、ビジネスに必要な豊かな人間性を育む。	農業に関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させる。また農業の社会的意義や役割を理解させ、農業に関する諸問題を主体的にかつ倫理観をもって解決できる創造的能力と実践的な態度を育てる。	工業技術者として必要な知識や技術を習得させるとともに、規範意識や倫理観を身につけさせ、ものづくりを通した学習により、自ら創意工夫し課題解決を図ることができる実践的な態度を育む。															
学年共通				かかる	もとめる	はたす	各学年指導目標												
指導内容	朝読書		◎				1年	新しい環境に適応して他者との望ましい人間関係を構築し互いを認め合う心を養い、自らの役割を自覚し積極的に役割を果たせるように支援する。それらを通じて勤労観、職業観等の価値観形成を図り、将来設計を立案し今取り組むべき学習や活動を理解させ、実行させる。											
	玄関指導/清掃点検	○	○				2年	生徒が、明るく伸びやかに心身共に健全な学校生活を送ることを基本として、生徒それぞれの進路実現に向けた実力養成を支援する。LHR・ドリカムゼミ等を通じて自己理解・進路理解を深め、社会情勢も視野に入れつつ進路目標実現へ向けて計画的・継続的に実践する態度を養う。											
	共育サポートカレンダー	◎	○				3年	最高学年として校風を築く自覚をもたせながら高校生活を送らせると共に、社会人として必要な礼儀や基本的生活習慣を身につけさせる。また、進路指導部やガイダンス部との連携を密にして、協力・協働体制を確立し、生徒一人一人の進路目標を実現させる。											
	教育相談SC活用	◎	○																
指導内容			ねらい				指導教科等	実施時期		時数	かかる	もとめる	はたす						
1年	高校の学習と自己理解	これまでの自己の学習に対する態度や姿勢を見直させ、高校生として学習への取り組みや、生き方や在り方について考えさせる。				産社・特別活動	4月		2	◎	○								
	適性検査結果分析会	適性検査(進路アドバイスシステム職業・学問編)を活用し、客観的な自己分析を行い自分の興味・関心・適性を探らせる。				産社	4月		2	◎									
	「自己理解ワーク」「基礎力診断分析会」	今までの自分を振り返らせるとともに、現在の自分がどのような人間であるかを理解させ、将来の展望について考えさせる。				産社	4~6月		6	○	○								
	系列選択・科目選択	自己の進路決定に向けての意識を高め、将来に向けて高校で何を学習すべきかについて、科目選択を通して深く考えさせる。				産社	4~5月		14	○	○								
	職業人講話	将来の職業選択に向けて、生徒各自が社会の一員として意識を高め、職業への適性を知るとともに、健全な職業観や勤労観が養われるようにする。				産社	4~8月		6	◎	○								
	探究スキルを身につける	コミュニケーションを学んだり、イメージマップ等を使ったり、情報収集の仕方を学んだりしながら、探究活動を実際におこなうことで、探究の仕方を身につける。				総探	4~9月		16	○	○								
	地元企業等合同説明会①	地元企業を知ることにより、地域の特性や魅力を理解させるとともに、地域を誇りに思い積極的に関わろうとする姿勢を育成する。				特別活動	5月		2	◎									
	上級学校ガイダンス	進学することで取得可能な資格や進路先について理解を深め、多様な進路選択の中でそれぞれの大学または専門学校等の上級学校を理解させ、視野を広げさせる。				産社	6月		4	◎	○								
	系列と仕事や学問の研究と発表	「系列と仕事や学問の研究」を通して、高校生活での目標を明確にさせ、自己の将来への展望を持ち、協働し合うことで各自の意図を高めさせる。				産社	6~10月		17	○	○								
	キャリアプラン作成と発表	これまでの「産業社会と人間」の学びや体験を通して、自己の将来への展望を明確にさせ、互いに発表し合うことで自己理解・他者理解を深める。				産社	9月		10	○	○								
	興味関心に基づく研究	生徒の興味関心に基づく課題を調査・研究し、探究活動を実際におこなうことで、探究の仕方を身につける。				総探	10月~2月		17	○	○								
	進路ガイダンス	自身の適性を知り、どんなことに興味がありどんな自分になっていきたいのか自分自身を深く見つめなおす機会とする。				特別活動	11・3月		5	○	○								
	地元企業等合同説明会②	地元企業を知ることにより、地域の特性や魅力を理解させるとともに、地域を誇りに思い積極的に関わろうとする姿勢を育成する。				特別活動	3月		2	◎									
	総合探究Ⅰ発表会	探究活動の学習成果を年次を超えて共有する。				特別活動	3月		2	○	○								
2年	自己理解	各自のキャリアプランを再確認し、目標の実現を目指して「ドリカムゼミ」でどのような活動に取り組み、課題を解決していくか考えさせる。				総探	4月		3	○									
	ビジネスマナー講座	職場体験実習に向けて、社会で仕事をしている方々と信頼を構築していくために必要な知識について学ぶ。				総探	7月		1	○									
	進路ガイダンス	積極的に情報を集め、進路先を具体的に考える力を養う。中堅年次としての自己を促し、自己実現と希望進路の関係性を理解させる。				特別活動	7・1月		2	○	○								
	職場体験実習	自己の在り方生き方を考えながら実社会と関わり、探究の手法を深める。また、企業(事業所)としての課題、地域としての課題を知り、探究活動のテーマとする。				総探	11月		9	○	○								
	地域・職業探究活動	職場体験学習を通して学習したテーマを基に、地域での生活や地域社会貢献の具体例について探究する。				総探	9~1月		16	○	○								
	表現力・思考力講座	発表に向けてスライドの作成やボスター発表の技術を学び、分かりやすい表現で説明できるように思考力を深める。				総探	11~2月		2	○									
	選挙に関する講話	選挙権年齢が18歳に引き下げられたことを踏まえ、社会や政治に興味・関心を持ち、有権者としての自觉と責任を持って生活できるようにする。				特別活動	2月		1	○									
	ものづくり企業見学会	地元																	